



村田学園 創立 100 周年記念事業 事業概要

ご挨拶 (趣意書)

2009 年 11 月、村田学園は創立 100 周年を迎えます。

村田学園は、明治 42 年 (1909 年) 簿記を日本の国民常識にと念じ、創立者村田謙造が東京神田一ツ橋通町に私塾「銀行会社事務員養成所」を興して以来、実学養成の社会的要請に応えてまいりました。

学園 100 年の歩みの中で、建学の精神として受け継がれてきたものが「有算者勝」の言葉です。創立者はこれを、「物事に緻密な計画性を持ってあたるならば必ず成就する」と説きました。実生活に直ちに役立つ知識技術の修得支援こそが村田の教育的使命と認識をしています。信念を貫くことが難しいといわれる今、改めて実学の重要性と必要性を発信し続ける覚悟です。

100 周年を機に、教育環境の整備充実の一環として、北軽井沢高原寮の改築と市川グラウンドの全天候化を進めております。教育面においては、東京経営短期大学では、実学教育と 2 年間での完成教育を約束し、村田女子高等学校においては、生徒の特性を伸ばす教育を徹底します。村田簿記学校は、中小企業の後継者育成を目指す教育機関として平成 19 年 4 月から専門学校村田経営義塾と改称し、新たな出発をします。

村田学園創立 100 周年記念事業の達成を通して、さらに未来への水先案内人として、社会に貢献してまいる所存であります。

何卒、事業の趣旨をご理解いただき、皆様方のご指導ご鞭撻と格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成 19 年 7 月
学校法人 村田学園
理事長 亀田光昭

村田学園創立100周年記念事業の進捗報告と 事業順位の整理について

謙照会会長 亀田 光昭

ご支援をいただいている皆様、お力をお寄せいただきましてありがとうございます。

おかげさまで、学園創立100周年記念事業の柱としておりました中学校がスタートラインに立つことができました。中学校の設置が許認可事業のため当初のパンフレット等の印刷物でお示しできず、お知らせが遅れまして申し訳ありませんでした。

記念募金開始2年目に入りますにあたり、事業の目的、募金事業の内容を整理しました。北軽井沢寮の建設は将来の目標と位置づけ、募金実績状況との関係でその実施時期を決める事とし、学生・生徒が直ちに必要とする教育環境の整備を先行することいたしました。学園の目指します体験学習にもとづく論理的思考のできる女性の育成のための場は当面、夏期のみは北軽井沢を用いますが、他の季節は協力企業の施設をお借りして実現を目指してまいります。さらに、村田照子先生のお姿に接したいとお声を皆様からいただき、胸像の製作を追加させていただきました。

学園の在校生も社会に向かい、あるいは新学年を前に目を輝かせて準備に入っております。

今後も、皆様からのご注目とご支援をいただけますよう心よりお願い申し上げます。

平成20年3月

整理後の事業目的

- ① 村田学園小石川女子中学校の設置(2007.12.3 正式認可証をいただきました。)
- ② 村田学園の教育研究環境の充実
 - ・ 村田学園の教育設備の充実
村田学園市川グラウンドの改修、村田学園の北軽井沢寮の改築(着工時期検討中)
 - ・ 教育研究に要する経常費支援
- ③ 情報発信システムの構築
- ④ 実学教育の拠点整備(神保町)
- ⑤ 前理事長村田照子先生の胸像制作
- ⑥ 100周年記念誌の編纂
- ⑦ 100周年記念事業募金の実施(記念事業に要する資金の調達)